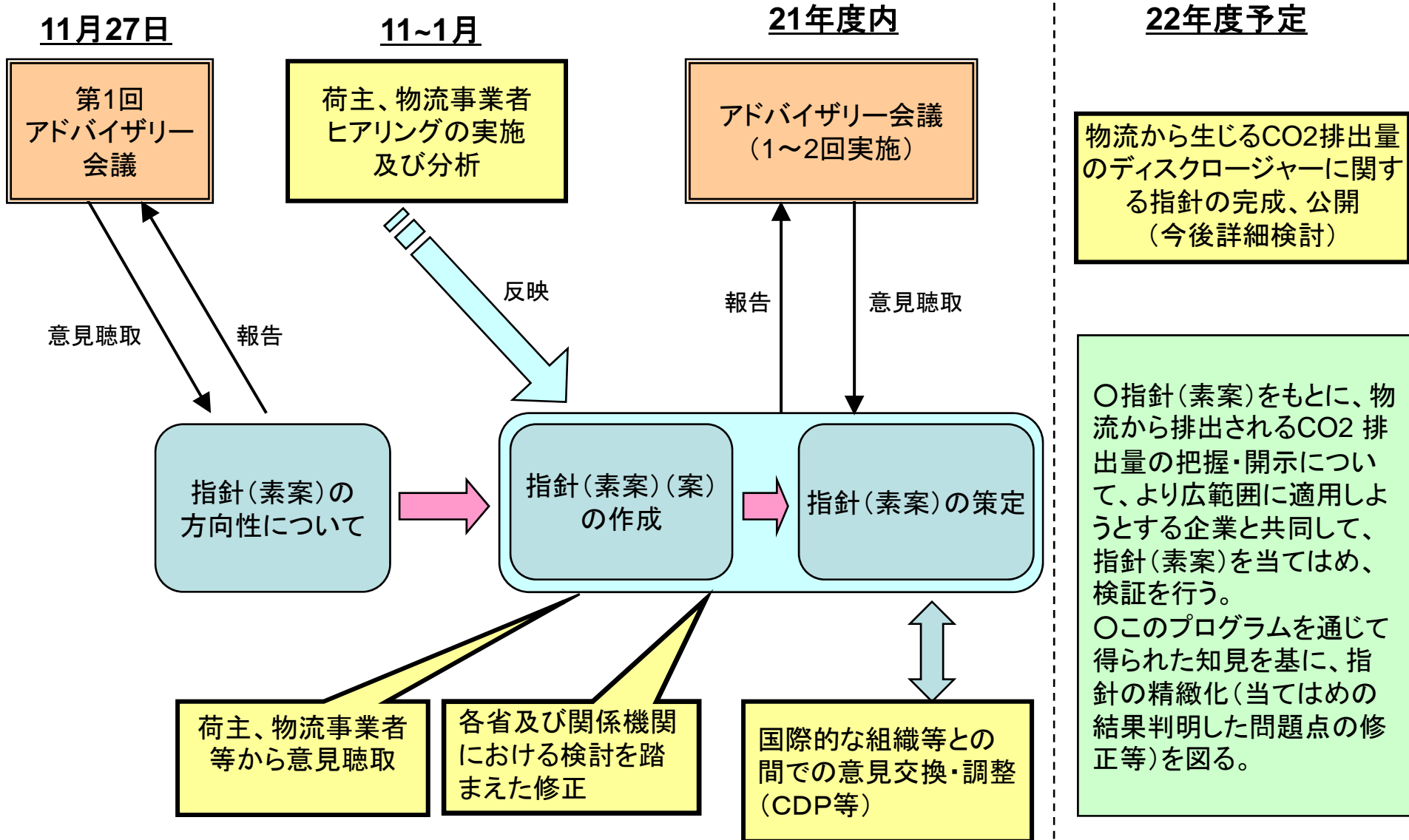


物流CO2 調査スケジュール(予定)



指針(素案)策定に当たっての検討課題

○企業グループにおけるCO2排出量の把握・開示

- ・グループ内での算定方法の統一化、排出量が少ない子会社等の扱い
- ・コア企業からグループ内に拡大していく際の方針
- ・業態が異なるグループ企業間での調整等

○開示の範囲等

- ・算定範囲の明確化(サプライチェーンにおける位置付け、対象商品または事業のカテゴリ)
- ・算定範囲を拡大していく際の留意点(範囲が変化した場合の経年変化の比較法等)
- ・算定手法の明確化とより精緻な算定手法の使用に向けた考え方
- ・開示情報へのアクセシビリティ等

○国際物流におけるCO2排出量算定

- ・国際物流におけるCO2把握の動向と算定方法(航路別・地域別など原単位作成の可能性の検討等)
- ・算定手法の標準化に向けて把握すべきデータ項目の整理

○相手国内におけるCO2排出量算定

- ・算定方法の整理、および各手法の課題検討
- ・相手国側における法制度、慣行等との調整
- ・日本と同様の算定方法を採用する場合の指針と課題

○開示レベルの評価

- ・評価スキーム(評価軸の設定)
(開示の対象範囲、データ把握および算定方法の精度、セグメント(細分化)レベル、他企業(デマンドチェーン)等への開示度、アクセシビリティ、その他)
- ・統合評価指標

物流におけるCO2排出量のディスクロージャー、およびCO2排出量削減実績を分かりやすく示す
統一的かつ比較可能な統合評価指標の検討